

【PDCA】

Ⅲ 子どもから大人まで学びと成長のまちづくり

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	保小中連携による教育活動の向上	所属	教育課	SDG s	4・11
事業（細目）名	事務局費	事業番号	1183		
総合計画	基本理念	Ⅲ 子供から大人までの学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	1	連番 67

R4 年度

Goal(目標)	小1、中1で表れる問題やギャップなどの解消に向けた保小中の連携を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の連携による情報 ・園児・児童・生徒の交流 ・保護者への情報提供

R4 年度

(単位：円)

Do(実行)	R4 実績額	0円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	保(幼)小連絡会・体験交流	回	4	10	12	300%
②	小中連絡会・交流授業・体験入学	回	2	2	4	200%
③	保護者対象学校説明会の実施(小中で実施)	回	2	2	2	100%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・各連絡会、中学校出前授業、小中学校ともに体験入学を実施し、保小中間でのギャップ解消に努めた。 ・保護者への入学前学校説明会を実施し、学校生活への見通しを持ってもらえるようにした。 				

R4 年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・ようちえん、保育園の交流と小学校との接続についてカリキュラムも含めて改善に向かっている。 小学校中学年段階での不適応の発生を就学前と小学校就学開始時期の活動見直しにより未然に防ぐ。 				

R4 年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 校長園長会や交流事業等により、保小中のスムーズな接続ができた。				

R4 年度

Action(改善)	R4 実施内容の改善及び見直しの上、R5 の方針・計画
<p>日頃から保小中との情報共有に加え福祉課との連携を強化し、児童生徒の特性や発達状況を早期に把握し、入学時等における精神的な障壁を乗り越えられるよう支援を行う。</p>	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	特別支援教育における支援体制の充実	所属	教育課	SDG s	4・11
事業（細目）名	智頭小学校・中学校教育委振興・特別支援教育総合推進事業	事業番号	1987		
総合計画	基本理念	Ⅲ 子供から大人までの学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	2	連番

R4 年度

Goal(目標)	支援体制づくりにより、発達障がい等を含む障がいのある子どもたちを適切に支援する。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育支援員の配置

R4 年度

(単位：円)

Do(実行)	R4 実績額	17,301,000円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	特別支援教育支援員数（小学校）	人	7	7	7	100%
②	特別支援教育支援員数（中学校）	人	1	1	1	100%
						#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・必要人員を配置し、特別支援学級と支援を要する児童生徒の安定を図ることができている。 ・支援の必要性に応じて優先順位をつけ、柔軟に支援員を配置することができるようになった。 				

R4 年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・要支援児童生徒の多様化に対応するよう配置の調整を現状を踏まえて適切に行い、事業を継続する必要がある。 ・児童生徒の支援体制に資する人材（質と量）の見直しと確保が必要。 				

R4 年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 新たなコーディネーターの確保と、専門機関の活用が求められる。				

R4 年度

Action(改善)	R4 実施内容の改善及び見直しの上、R5 の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・保育園と小、中学校が情報を共有し、保護者の育児不安や子どもの発達障がいなどの特性を早期にキャッチできる体制を構築する。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	学校運営協議会と創るコミュニティ・スクール	所属	教育課	SDG s	4・11
事業（細目）名	社会教育委員費	事業番号	1189		
総合計画	基本理念	Ⅲ 子供から大人までの学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	3	連番

R4 年度

Goal(目標)	学校と保護者、地域住民が連携協力し、地域に開かれた学校運営により子どもたちの健やかな成長を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会の開催、学校開放日(参観日)による開かれた学校づくりを実施 ・ゲストティーチャーの活用による郷土学習の推進 ・コミュニティスクールの導入に向けた協議・検討

R4 年度

(単位：円)

Do(実行)	R4 実績額	0円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	学校運営協議会の開催	回	0	5	5	#DIV/0!
						#DIV/0!
						#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会を設置し、学校運営について協議を重ねた。 				

R4 年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会を立ち上げた。 ・学校公開により、保護者や地域住民への学校教育活動への理解と協力体制の構築が進んだ。 				

R4 年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： コミュニティ・スクールの具体的な活動方針を検討した。				

R4 年度（11月末に記入）

Action(改善)	R4 実施内容の改善及び見直しの上、R5 の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も現行の体制を維持し、地域に開かれた学校運営に努める。 ・コミュニティスクールの運営を支援するコーディネーターを配置する。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	教職員の教育力の充実	所属	教育課	SDG s	4・11	
事業（細目）名	学力向上推進プロジェクト事業	事業番号	2001			
総合計画	基本理念	Ⅲ 子供から大人までの学びと成長のまちづくり				
	視点	学び	事業番号	4	連番	70

R4 年度

Goal(目標)	子ども・保護者・地域から尊敬され、信頼される質の高い教師を養成・確保する
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・年間2回の町教育委員会学校訪問（小中学校） ・教職員授業力アップ研修会（夏季小中合同研修） ・県外の先進的な取り組みの視察

R4 年度

(単位：円)

Do(実行)	R4 実績額	0円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	町教育委員会学校訪問での指導助言	回	4	4	4	100%
②	教職員授業力アップ研修の実施	回	1	1	2	200%
③	県外視察	回	0	0	0	#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問により、学校の実態を把握し、教職員への指導助言を適時行った。 ・HyperQUの活用研修を行った。 				

R4 年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育の現状に求められる研修内容で研修が進められている。 ・県外の講師を招聘するのが難しかったが、オンラインでの研修を無料で行うことができた。 				

R4 年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
----	---	----	----	------	----	----

担当課長評価

評価	B	評価理由： ICTを活用し、教員教務の負担軽減を実現するための研修が求められる。
----	---	--

R4 年度（11月末に記入）

Action(改善)	<p>R4 実施内容の改善及び見直しの上、R5 の方針・計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続きICTを有効利用し、必要な研修を時間効率を上げて実施できるよう努める。
-------------------	---

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	学校現場でのICT機器の活用	所属	教育課	SDG s	4・11
事業（細目）名	智頭小学校・中学校教育振興事業／智頭小学校・中学校管理事業	事業番号	1593/1188/1599/1187		
総合計画	基本理念	Ⅲ 子供から大人までの学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	5	連番

R4 年度

Goal(目標)	児童生徒の学力、ICT活用能力を高める。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器およびネットワークの整備・保守 ・ICT機器を活用した学びの充実(ICT支援員によるサポート) ・児童生徒の学力、ICT活用能力の育成（e－ラーニング教材）

R4 年度

(単位：円)

Do(実行)		R4 実績額	16,416,000円			
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	ICT機器の整備（タブレット）	台	0	95	95	#DIV/0!
②	ICT支援員の配置	人	1	1	1	100%
③	e－ラーニング教材導入と情報モラル教育（メディコンウィーク）	校	2	2	2	100%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校児童生徒一人一端末の整備 ・ICT支援員の配置（授業支援及び教員の機器能力の向上） ・e－ラーニング教材の導入と活用 				

R4 年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒一人一端末（同一機種）の整備が完了した。 ・ICT支援員の活用により、授業や文化祭などのイベントをオンライン配信することができた。 				

R4 年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：ICT化に対応した環境整備と、教員の活用スキルアップがなされている。				

R4 年度

Action(改善)	
R4 実施内容の改善及び見直しの上、R5 の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・学校内のICT化(ハード整備)が整い、ICT支援員による授業サポート体制を強化し、学校現場でICT機器を活用した授業が円滑に行われるよう支援すると同時に、先生のICT機器活用のスキルアップを行う。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	児童生徒の顔が見える少人数学級の実施	所属	教育課	SDG s	4・11	
事業（細目）名	智頭小学校教育振興事業	事業番号	1593			
総合計画	基本理念	Ⅲ 子供から大人までの学びと成長のまちづくり				
	視点	学び	事業番号	7	連番	73

R4 年度

Goal(目標)	適正な学級編成人数の保障により、児童生徒に対するきめ細かい指導・支援体制を作る。
Plan(事業概要・計画)	<p>県の少人数学級事業(小学1・2・3年30人、中学1年33人、他学年1学級35人以下)を活用し、全クラス少人数学級を継続実施する。</p>

R4 年度

(単位：円)

Do(実行)	R4 実績額	4,000,000円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	少人数学級該当学級数（小学校）	学級	1(5年)	1(6年)	1	#VALUE!
②	少人数学級該当学級数（中学校）	学級	1(1年)	2(1・2年)	2	#VALUE!
						#DIV/0!
実施内容		<p>・小学校第6学年、中学校第1,2学年の計3学年に鳥取県の少人数学級事業を適用して学級編成。 1学級20人程度の児童生徒数を実現し、適正規模でのきめ細かい指導・支援を実施。</p>				

R4 年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<p>・多様化する児童生徒の実態に応じた指導や支援を実施できた。 ・児童生徒数の減少により、継続的に少人数学級実施のための負担金が必要となる。</p>				

R4 年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：少人数学級により、きめ細やかな学校運営に寄与している。				

R4 年度

Action(改善)	R4 実施内容の改善及び見直しの上、R5 の方針・計画
<p>・子どもの学力向上と情緒の安定を図り、発達・発育を支えるためには、少人数学級の活用が望ましい。 ・小中学校において、引き続き少人数学級の措置を行い、子どもの特性に寄り添える授業体制を構築する。</p>	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	学校不適応児童生徒に対する適切な指導の推進	所属	教育課	SDG s	4・11
事業（細目）名	スクールソーシャルワーカー活用事業	事業番号	2057		
総合計画	基本理念	Ⅲ 子供から大人までの学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	8	連番

R4 年度

Goal(目標)	
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールソーシャルワーカー配置による児童生徒の相談・支援体制づくり。 ・児童生徒の家庭環境等の背景把握による不登校、学校不適応への対応。 ・みどりヶ丘教室等の教育支援施設、家庭教育支援チーム、福祉課等関連機関との連携を図る。

R4 年度

(単位：円)

Do(実行)	R4 実績額	3,604,000円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	スクールソーシャルワーカーの配置	人	1	1	1	100%
②	児童生徒に係る教育相談への対応・支援	校	2	2	2	100%
③	みどりヶ丘教室による不登校支援	人	2	5	8	400%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校中心に児童生徒の様子を観察し、担任、教育相談担当との情報共有を行う。 ・家庭環境について関連機関と連携して情報収集し、ケース会議等での適切な対応につなげる。 ・みどりヶ丘教室等の教育支援施設による不登校児童生徒の支援。 					

R4 年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおりにいかない案件や、優先順位が高いものが並列的にあり、増加傾向にある。 ・家庭教育の多様化により、支援が必要な家庭が多く見受けられる。 					

R4 年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 学校と家庭及び関係機関との接続・連携により、課題解消が進んでいる。				

R4 年度

Action(改善)	
R4 実施内容の改善及び見直しの上、R5 の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活に適應できない子どもが増加傾向にあり、今後ますますSSWの活用が重要となる。 ・学校と教育委員会、福祉課等の関係機関を繋ぎ、課題解消に向けたコーディネートが必要。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	学校と家庭の連携による良好な生活習慣の定着	所属	教育課	SDG s	4・11
事業（細目）名	家庭教育学級事業/放課後児童クラブ		事業番号	1199/1861	
総合計画	基本理念	Ⅲ 子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	①学び	事業番号	9	連番 75

R4 年度

Goal(目標)	保護者と共に育む家庭教育及び豊かな子育ての推進
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化する生活と家庭環境に関わらず、保護者の充実した子育てにより親子の良好な関係構築を応援する。 ・保護者の不安や困り感を早期に把握できる体制を整え、関係機関と協力して課題解消を図る。 ・放課後児童クラブの運営

R4 年度

(単位：円)

Do(実行)	R4 実績額	12,225,000円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	小学校1年生の家庭訪問を実施	回	1	1	1	100%
②	子育て講座の開催	回	3	6	4	133%
③						#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・福祉課と共に小学1年生の家庭訪問を実施。 ・放課後児童クラブの運営。 				

R4 年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の横の繋がりをつくったり、子育て力を高めるような機会の創出が必要である。 				

R4 年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 保護者の子育て力の向上に向けた取り組みがなされている。				

R4 年度

Action(改善)	R4 実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA研修を開催し、児童虐待予防、子どもの健やかな育ちに繋げる。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	国際感覚の醸成（韓国江原道楊口郡との交流と英語教育の充実）	所属	教育課	SDG s	4・11	
事業（細目）名	外国語指導助手招致事業／国際交流事業	事業番号	1456／1529			
総合計画	基本理念	Ⅲ 子供から大人までの学びと成長のまちづくり				
	視点	学び	事業番号	10	連番	76

R4 年度

Goal(目標)	青少年の異文化理解を深め、国際感覚と幅広い視野で物事を考える力を身につける。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校にALTを配置し外国語教育を充実する。 ・韓国楊口郡との青少年交流により、中学生の世界観を広げ、将来にわたる心の成長を支援する。

R4 年度

(単位：円)

Do(実行)	R4 実績額	7,075,000円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	ALTの小中学校配置	人	1	1	1	100%
②	韓国訪問人数	人	0	0	0	#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・ALTを1名配置し、外国語の授業をTT（チームティーチング）で実施する。 ・外国語担当教員、小学校教員、ALTで連携し、小学校から中学校へのスムーズな外国語教育の移行を図る。 ・保育園でALTと園児との交流を図り、英語に親しめるようにする。 				

R4 年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・小学校外国語活動、外国語科が本格実施され、小学校でのALTの活動場面は多くなった。教員の指導力向上とALT活用の両面で児童生徒の外国語への親しみと理解力を高める必要がある。 ・韓国との交流は感染症の影響を危惧し中止。 				

R4 年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 学校現場におけるALTの有効活用が課題。				

R4 年度

Action(改善)	R4 実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・ALTの更新年となる。新規ALTが、智頭町での暮らしや学校現場に慣れるための支援を行う。 ・今後も保育園、小・中学校の様々な場面でALTを活用した外国語教育を進める。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	学校図書館の充実（学校司書配置継続と図書館との連携強化）	所属	教育課	SDG s	4・11	
事業（細目）名	智頭小学校／中学校教育振興事業	事業番号	1593／1188			
総合計画	基本理念	Ⅲ 子供から大人までの学びと成長のまちづくり				
	視点	学び	事業番号	11	連番	77

R4 年度

Goal(目標)	子どもが楽しく学び、心を育むための読書の推進と学校図書館の充実を図る。				
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校図書館への学校司書配置継続 ・ちえの森ちづ図書館との連携強化 ・図書購入費の充実 				

R4 年度

(単位：円)

Do(実行)	R4 実績額	7,328,000円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	小中学校図書館へ学校司書を配置	人	2	2	2	100%
②	図書購入達成率	%	100	100	100	100%
③						#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校図書館へ学校司書を配置（会計年度任用職員） ・ちえの森ちづ図書館と連携し、授業支援や司書の研修を実施。 				

R4 年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・図書の充実、ちえの森ちづ図書館との連携により、さらに子どもたちが読書に親しみ、学ぶ体制が確保できた。 ・小学校、中学校ともに学校図書館図書標準を達成している。 				

R4 年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 児童生徒の学びの深化に貢献している。				

R4 年度

Action(改善)	
R4 実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館及びちえの森ちづ図書館を有効に活用し、子どもの学習意欲を刺激する。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	智頭町教育ビジョンに基づく教育（成果の検証とさらなる向上対策の推進）	所属	教育課	SDG s	4・11	
事業（細目）名	教育委員会費／地域で育む学校支援ボランティア事業	事業番号	1182／1995			
総合計画	基本理念	Ⅲ 子供から大人までの学びと成長のまちづくり				
	視点	学び	事業番号	12	連番	78

R4 年度

Goal(目標)	智頭町を愛し、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和がとれ、『生きる力』をもつ子どもを学校・家庭・地域で育成するという基本理念の達成のため教育ビジョンに基づき取組と検証を行う。				
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・創造的学習 学校における各教科、総合的な学習の時間を中心に、ふるさとキャリア教育実施する。 				

R4 年度

(単位：円)

Do(実行)		R4 実績額	3,550,000円			
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	地域を素材とした学習の展開	校	2	2	2	100%
②	地域のボランティア人材の有効活用	校	1	1	1	100%
③						#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間を中心とした地域に根差した学習の実施。 ・学校ボランティアの活用。 ・百人委員会への提案。 				

R4 年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じた地域学習を進めることができた。 ・学校ボランティアを活用し、地域の強みを生かした学びができた。 ・智頭の良さを感じられる活動の在り方を検討する。 				

R4 年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 地域の特性を活かした学びの機会を維持・継続できている。				

R4 年度

Action(改善)	R4 実施内容の改善及び見直しの上、R5 の方針・計画					
<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源やコミュニティを活用し郷土学習を深め、地域への愛着や将来を見据えた学びへと導く。 						

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	青少年の健全育成の推進	所属	教育課	SDG s	4・11
事業（細目）名	町成人式費／社会教育事業	事業番号	1194／1195		
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	13	連番

R4 年度（4月記入）

Goal(目標)	青少年育成指導員を中心に子どもたちの成長に繋がる体験活動や活躍の場を準備する。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成指導員のスキルアップと組織強化を図り、子どもたちのニーズに沿った活動を展開する。 ・智頭町成人式の開催を支援する。

R4 年度

（単位：円）

Do(実行)	R4 実績額	1,028,000円			
活動実績を示す指標	単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
① 指導員協議会の開催	回	6	12	10	167%
② 青少年の育成に関するイベント開催	回	1	3	2	200%
③					#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成事業の実施 ・指導員協議会の定期開催 ・成人式実施 				

R4 年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・智頭宿謎解きラリー、工作教室を開催 ・延期となっていた令和3年智頭町成人式を挙行 					

R4 年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：感染症対策を行いながら事業を実施できた。				

R4 年度

Action(改善)	
R4 実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの感受性、協調性を育む事業の企画

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	ちづNEXT	所属	企画課	SDGs	11、17
事業（細目）名	百人委員会	事業番号	1895		
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	14	連番

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	中学生が智頭町のことを学習することで郷土愛を育み、その経験を活かし百人委員会の企画提案の立案や実践に繋げる。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の総合学習で智頭町に関する学習を実施。（6月～10月） ・授業を通して、百人委員会企画提案会に繋げる。（10月～12月）

R4年度

Do(実行)	R4実績見込額	0
活動実績を示す指標		単位
①	ちづNEXT（授業）	回
②	担当教諭との打ち合わせ	回
③		#DIV/0!
実施内容		
1年生・・・ちづNEXT授業（4回）、打ち合わせ（1回）		
2年生・・・ちづNEXT授業（5回）、打ち合わせ（2回）		
3年生・・・ちづNEXT授業（7回）、打ち合わせ（5回）		

R4年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						
<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsをテーマに座学を行い、鳥取大学・専修大学の協力のもとWSを開催。 ・生徒発案での百人委員会提案へ繋げた。 ・WSの開催時期を早め百人委員会の企画提案を考える時間を増やした方がよい。 						

R4年度

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：中学生の参加がシステム化されて来た。				

R4年度

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・2、3年生の年間スケジュールを見直し、早めの対応をする。 ・WS開催時期を早め、百人委員会企画提案に向けての授業回数を増やす。 ・引き続き、役場SDGs推進チームの協力を求める。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	地域の良さと歴史文化など、郷土を大切に学習の導入	所属	教育課	SDG s	4・11
事業（細目）名	地域に学ぶワクワクちづ事業	事業番号	1536		
総合計画	基本理念	Ⅲ 子供から大人までの学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	15	連番

R4 年度

Goal(目標)	地域を学ぶことによって郷土を愛する心を育む。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ワクワクちづ（職場体験） ・小学生の林業体験

R4 年度

(単位：円)

Do(実行)	R4 実績見込額	13,000円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	職場体験学習の実施回数	回	0	1	1	#DIV/0!
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容						

R4 年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						
<ul style="list-style-type: none"> ・事前、事後に検査を実施するなど感染症防止対策を徹底し、ワクワクちづを実施した。 						

R4 年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 職業体験は職業選択に係る貴重な体験である。				

R4 年度

Action(改善)	
R4 実施内容の改善及び見直しの上、R5 の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・就業体験の機会は、子どもが将来の自身の姿を想像し、見通しをたてる良い機会であり、意義が深い。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	図書館を中心にした賑わい創出	所属	教育課	SDG s	4
事業（細目）名	図書館費	事業番号	1770		
総合計画	基本理念	川子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	①学び	事業番号	18	連番

R4 年度

Goal(目標)	住民に愛され必要とされる場となる
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館を多くの住民に知ってもらうことにより、利用だけでなく図書館を中心とした新たな住民の交流を目指す。 ・ 関係課や関係団体との協議により、図書館だけでなく新たな賑わいを創出する幅広い事業を実施する。

R4 年度

Do(実行)		R4 実績額	40,000円			
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	講座・講演会等の開催	回	2	2	2	100%
②	地域への出前講座	回	2	4	7	350%
③	地域と連携した事業実施	回	31	30	33	106%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域との連携事業（講座13回、展示20回） ・ 地域への出前講座 ・ 講演会、講座の開催 ・ ボランティアと連携した事業委託（開館2周年記念） ・ 図書館W e bサイトの充実 				

R4 年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・ 新図書館が開館し、多くの方から連携した事業提案をもらい実施することができた。 ・ 延入館者数が開館前の予想を大きく上回り、今後は図書館から広がる賑わいの創出について取り組む必要がある。 （新図書館開館後延入館者 121,026人 3月末現在） 				

R4 年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 多様なニーズに対応したサービスを実施し、住民との連携を図っている。				

R4 年度

Action(改善)	
R4 実施内容の改善及び見直しの上、R5 の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民が求める多様な活動が、自主的に実施できる場となるように地域との連携を図る。 ・ 図書館サービスについての広報に努め、図書館が住民の居場所や交流の場所となることを周知する。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	各文化サークルの活動支援と参加者の加入促進	所属	教育課	SDG s	4・11
事業（細目）名	文化振興事業／生涯学習事業		事業番号	1193／1202	
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	19	連番 83

R4 年度

Goal(目標)	智頭町文化協会の活動支援、文化活動の参加、サークルへの加入促進、学習意欲向上
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・加盟団体における活動の充実 ・文化活動支援による住民参加促進 ・生涯学習講座の開催

R4 年度

(単位：円)

Do(実行)	R4 実績額	420,000円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	智頭町文化祭展示発表会来場者数	人	0	400	500	#DIV/0!
②	代表者会の開催	回	8	8	10	125%
③	生涯学習講座の開催	回	2	3	5	250%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・文化協会団体への活動支援(19団体) ・生涯学習講座の開催 				

R4 年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化の継承において、会員の高齢化による団体維持が困難となってきているので、若者の継承者を育成する。 				

R4 年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：感染症対策を行いながら事業を実施できた。				

R4 年度

Action(改善)	R4 実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
<p>各加盟団体で、引き続き後継者の確保、加入促進に向けて活動を継続する。</p> <p>生涯学習講座を継続して開催しつつ、現在ある生涯学習活動団体の新規(若者)獲得を図る。</p>	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	文化財保護・活用方策の明確化	所属	教育課	SDG s	11・4・15	
事業（細目）名	文化財保護事業	事業番号	1192			
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり				
	視点	学び	事業番号	20	連番	84

R4 年度

Goal(目標)	町内文化財を保護、活用し、町民の郷土愛を育む。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・町内文化財の調査研究 ・智頭の林業景観整備計画策定

R4 年度

(単位：円)

Do(実行)	R4 実績額	16,544,378円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	文化財案内看板の確認	回	0	3	6	#DIV/0!
②	文化財の状態確認	回	3	3	1	33%
③		%				#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・町内の歴史的建造物を回り保存状態の確認、写真を記録した。 ・智頭の林業景観整備計画策定に向けた調査を実施。 				

R4 年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的建造物を調査し、現状や劣化状況など把握した。 ・整備検討委員会及び調査により智頭の林業景観策定に向け情報が集まった。 ・「重要な構成要素」の老朽化が進み修繕費用の増加が見込まれる。 				

R4 年度

評価	C	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 林業景観策定のとりまとめにより、今後の活用検討が求められる。				

R4 年度

Action(改善)	
R4 実施内容の改善及び見直しの上、R5 の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・未指定の文化財の調査研究を行う。 ・智頭の林業景観の整備計画を実行していく。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	文化財保護・活用方策の明確化	所属	教育課	SDG s	11・4・15
事業（細目）名	歴史の道整備活用推進事業	事業番号	1506		
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	20	連番

R4 年度

Goal(目標)	歴史の道のき損箇所を復旧し、集客を目指した事業展開
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年豪雨によりき損した歴史の道を復旧する。

R4 年度

(単位：円)

Do(実行)	R4 実績額	8,967,930円			
活動実績を示す指標	単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
① 災害復旧工事の進捗	%	0	100	100	#DIV/0!
② 歴史の道イベント	回	0	2	2	#DIV/0!
③					#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 災害復旧工事を施工 →一部材料の納期が送れたため来年度へ繰越 				

R4 年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> 大雨等の自然被害による対策が必要である。 					

R4 年度

評価	C	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	評価理由： 災害復旧が進められている。復旧後の活用が課題。				

R4 年度

Action(改善)	R4 実施内容の改善及び見直しの上、R5 の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き災害復旧工事を行う。 岡山県側の志戸坂峠の国指定史跡を目指す岡山県西栗倉村と協力して峠越えの活用を図る。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	文化財保護・活用方策の明確化	所属	教育課	SDG s	11・4・15
事業（細目）名	板井原集落整備活用推進事業	事業番号	1507		
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	20	連番

R4 年度

Goal(目標)	伝統的建造物群保存地区の文化財価値を維持する。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・き損及び老朽化した家屋等を修繕整備

R4 年度

(単位：円)

Do(実行)	R4 実績額	3,478,000円			
活動実績を示す指標	単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
① 板井原集落保存協議会の開催	回	0	1	0	#DIV/0!
② 伝統的建造物群保存地区保存整備費補助金の交付	人	0	1	2	#DIV/0!
③					#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・板井原集落保存協議会と伝統的建造物群の保護について協議した。 				

R4 年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・建造物の老朽化が進み修繕費用の増加が見込まれる。 					

R4 年度

評価	C
----	---

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
----	----	------	----	----

担当課長評価

評価	B
----	---

評価理由：暮らしのある集落を維持するために、関係課との連携が求められる。

R4 年度

Action(改善)	R4 実施内容の改善及び見直しの上、R5 の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した家屋等を修繕整備を行い、伝統建築物の保全管理を行う ・集落協議会と今後のあり方について協議が必要

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	文化財保護・活用方策の明確化	所属	教育課	SDG s	11・4・15
事業（細目）名	石谷邸保存活用整備事業	事業番号	1562		
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	20	連番

R4 年度

Goal(目標)	来館者の増加を目指し、持続可能な運営を行う。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・石谷家住宅の維持管理 ・修繕箇所の対応 ・年間を通じたイベントの開催

R4 年度

(単位：円)

Do(実行)	R4 実績額	20,708,887円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	石谷家住宅の来館者	人	10,137	15,000	14,149	140%
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・石谷家住宅の維持管理を努め文化財として価値を保存した。 ・他団体と連携しイベント等により活用を図った。 					

R4 年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なイベントを企画したが、新型コロナウイルスの影響があり来館者が大幅に減少している。 ・修繕箇所はその都度対応したが、今後も修繕費用の増加が見込まれる。 					

R4 年度

評価	C	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 入館者増加に向けた企画展示等が行われた。				

R4 年度

Action(改善)	R4 実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・重要文化財としての資質を残しつつ、コストを削減した維持管理が必要。 ・入館者数の増につながる、展示物等の企画立案を充実させる

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	文化財保護・活用方策の明確化	所属	教育課	SDG s	11・4・15	
事業（細目）名	遺跡発掘事業	事業番号	1477			
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり				
	視点	学び	事業番号	20	連番	84

R4 年度

Goal(目標)	町内埋蔵文化財の認知度向上
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・縄文土器づくり体験 ・勾玉づくり体験教室 ・智頭枕田遺跡出土遺物の周知

R4 年度

(単位：円)

Do(実行)	R4 実績額	3,333,940円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	縄文土器づくり体験の参加者	人	13	15	13	100%
②	展示室を活用したイベントの開催	回	0	1	1	#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・縄文土器づくり体験を開催 ・勾玉づくり体験教室を開催 ・ちづ図書館で智頭の縄文土器展を開催 				

R4 年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・縄文土器づくり体験、勾玉づくり教室は例年より参加者が増えた。 ・「智頭枕田遺跡を保存活用を推進する会」のメンバーの高齢化により、体験学習の継続が懸念される。 				

R4 年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：子どもたちが歴史に触れ、郷土を学ぶ機会を提供している。				

R4 年度

Action(改善)	R4 実施内容の改善及び見直しの上、R5 の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・縄文土器づくり体験の開催方法を改善する必要がある。 ・小学生を対象とした事業は充実しているが、広い年代が埋蔵文化財へ興味を持つような仕掛けが必要。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	地域伝統文化の後継者育成	所属	教育課	SDG s	11・4・15
事業（細目）名	文化財保護事業	事業番号	1192		
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	20	連番

R4 年度

Goal(目標)	地域伝統文化を持続させる
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統芸能、伝統文化の保存活動の支援 ・ 無形民俗文化財の記録・保存

R4 年度

(単位：円)

Do(実行)	R4 実績額	0円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	町内伝統芸能の支援する補助金の交付	件	0	1	0	#DIV/0!
②	伝統芸能を披露する催しの開催	回	2	2	2	100%
③						#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・ 石谷家住宅で麒麟獅子舞の演技を披露するイベントを開催 				

R4 年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・ 新田人形浄瑠璃は、黒子衣装を揃えたことで、新たに加入したメンバーが演技に参加できるようになった。 ・ 石谷家住宅で芦津の麒麟獅子舞お披露目イベントを開催し、多くの方に見物いただいた。 				

R4 年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 衰退傾向にあ郷土芸能等の披露・活用の機会をどう増やすかが課題。				

R4 年度

Action(改善)	R4 実施内容の改善及び見直しの上、R5 の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統芸能、伝統文化を披露する場を提供し、保存団体のモチベーションの維持に繋げる。 ・ 県指定有形民俗文化財 智頭の林業道具の保存活用を考える必要がある 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	各地区公民館の地域の生涯学習拠点施設としての明確化	所属	教育課	SDG s	3・4・11
事業（細目）名	地区公民館費	事業番号	1208		
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	22	連番

R4 年度

Goal(目標)	地区住民による公民館活動を展開し、暮らしを彩る学びを増やす
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区公民館の施設の管理（随時） ・ 各部屋の調整及び維持管理（随時） ・ 地区住民の公民館活動の計画、実施

R4 年度

(単位：円)

Do(実行)	R4 実績額	26,176,413円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	各地区公民館の維持管理、運営確認	回	2	4	5	250%
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各地区公民館の施設の管理（随時） 					

R4 年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 十分な修繕とは言えないが、随時修繕が行えた ・ 運動会や地区公民館祭など大きな事業については開催を取りやめたが、徐々に公民館活動を実施してきている。 					

R4 年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価		評価理由： 感染症の影響により社会教育活動を休止せざるを得ない状況であった。				

R4 年度

Action(改善)	R4 実施内容の改善及び見直しの上、R5 の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい生活様式を取り入れ、会議や行事について方法を考えてもらい、目標を達成する。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	各地区公民館と中央公民館の役割の明確化と連携強化の促進	所属	教育課	SDG s	3・4・11
事業（細目）名	中央公民館事務費	事業番号	1200		
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	23	連番

R4 年度

Goal(目標)	中央公民館の運営と地区公民館との連絡調整を図り、暮らしを彩る学びを増やす				
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館連絡協議会の開催（随時） ・ 地区公民館主催の行事の巡視 ・ 東部地区社会教育関係者研修会への参加 				

R4 年度

(単位：円)

Do(実行)	R4 実績額	13,231,686円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	東部地区社会教育関係者研修会参加	人	1	1	1	100%
②	地区公民館祭の巡視	人	1	0	0	0%
③	公民館連絡協議会の開催	回	2	3	4	200%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各地区公民館の行事進捗状況の把握 					

R4 年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナウィルス感染症拡大防止のため、各地区の行事が中止となったが、地区公民館の状況把握を共有できた。 					

R4 年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価		評価理由： 感染症の影響により社会教育活動を休止せざるを得ない状況であった。				

R4 年度

Action(改善)	R4 実施内容の改善及び見直しの上、R5 の方針・計画				
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい生活様式を取り入れ、会議や行事について方法を見直し、目標を達成する。 				

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	各地区公民館と中央公民館の役割の明確化と連携強化の促進	所属	教育課	SDG s	3・4・11
事業（細目）名	中央公民館管理事業	事業番号	1207		
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	23	連番

R4 年度

Goal(目標)	中央公民館の施設及び環境整備を行い、生涯学習拠点施設とする
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館の施設の管理（随時） ・各部屋の調整及び維持管理（随時）

R4 年度

(単位：円)

Do(実行)	R4 実績額	16,258,475円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	各部屋の利用実績人数の把握	月	12	12	12	100%
②	電気、ガス、水道等の使用料の把握	月	12	12	12	100%
③						#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各部屋の利用状況、状態の把握 ・電気、ガス、水道の使用料の把握 					

R4 年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウィルス感染症拡大防止のため、各部屋の使用が減少したが、使用可能にする対策を講じた 					

R4 年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価		評価理由： 老朽化が進む施設のメンテナンスをしつつ、有効に活用している。				

R4 年度

Action(改善)	R4 実施内容の改善及び見直しの上、R5 の方針・計画
施設の老朽化により年次的な修繕が必要となるが、住民活動の促進のためにメンテナンスをしつつ効果的な活用を進めたい。	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	図書館事業	所属	教育課	SDG s	4
事業（細目）名	図書館費	事業番号	1770		
総合計画	基本理念	III子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	①学び	事業番号	24	連番

R4 年度

Goal(目標)	住民の生涯学習拠点として、資料を整備し図書館サービスと読書事業の展開を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館サービスの充実と新規図書館利用者の開拓 ・ 高齢者の読書活動の支援 ・ 子どもの読書環境の整備 ・ 図書館利用啓発事業 ・ 地域資料の充実

R4 年度

(単位：円)

Do(実行)	R4 実績額	31,753,000円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	新規利用者登録数	人	280	200	211	75%
②	1人あたりの貸出冊数	冊/年	9.3	8	8.2	88%
③	延貸出利用者数	人	14,288	12,000	12,874	90%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・ 新図書館サービス計画の策定 ・ 地域資料寄贈の呼びかけと献本の受入 ・ 図書館Webサイト、Facebookの活用 ・ あたまイキイキ音読教室などの事業実施 ・ 保育園、学校図書館との連携 ・ 図書館資料の見直し、蔵書の整備 				

R4 年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・ 新図書館開館後の運営を見直し、図書館サービス計画を新しく策定した。今後の実施が重要になる。 ・ 地域資料をはじめ、図書館資料の見直しを始めている。地域に必要とされる蔵書の整備が必要となる。 ・ 保育園、小学校、中学校等との連携による子どもの読書活動の推進を図っている。 				

R4 年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 住民の生涯学習拠点として図書館運営を行い、利用者増を図れている。				

R4 年度

Action(改善)	
R4 実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 策定した図書館サービス計画を住民の姿から見直し、検討を行い充実させる。 ・ 図書館サービスや利用について、住民への周知を図り、利用者を広げる。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	智頭農林高校との連携	所属	企画課	SDGs	11
事業（細目）名	智頭農林高校協力連携事業	事業番号	2008		
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	16	連番

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	行政と智頭農林高校が連携し、農林高校の魅力アップ、活性化を図る。また、百人委員会学生の部に参加し、自らが汗をかき、実践することで、やりがいを生ませることを目的とする。
Plan(事業概要・計画)	・百人委員会学生の部への参加

R4年度

Do(実行)		R4実績見込額	1,889,764円			
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	ちのりんショップ開催	回	8	7	7	88%
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容	百人委員会活動実践・企画提案会への参加（智頭宿魅力アッププロジェクト、ちのりんショップの運営）					

R4年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズと総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地元高校生の百人委員会への参加により、郷土愛の醸成に繋がった。 ・智頭宿魅力アッププロジェクト、ちのりんショップの運営により、智頭宿や商店街の活性化に繋がった。 ・県教委、農林高校と協働で魅力アッププロジェクトのスタート 					

R4年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
----	---	----	----	------	----	----

担当課長評価

評価	B	評価理由： 実践塾をスタートしたが、高校生の自発的な取り組みにいたっていない。魅力化への一つの施策であり、高校と連携を強化しながら進める必要がある。
----	---	--

R4年度

Action(改善)	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き百人委員会への参加を促す。 ・智頭農林高校と定期的に協議し、情報共有を図る。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	森林・林業教育の推進（児童・生徒の学習体験、木育の推進等）	所属	山村再生課	SDG s		
事業（細目）名	山と暮らしの人づくり事業	事業番号	2085			
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり				
	視点	学び	事業番号	17	連番	90

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	幼少期から木にふれあい、森林への関心を醸成し、生活の中における木材への関心を深める。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内の新生児に木製おもちゃ（智頭町産材製）を誕生記念として贈呈 ・ 木育キャラバンin智頭町の開催

R4年度（11月末に実績見込を記入）

Do(実行)	R4実績見込額				1,377,164円	
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	新生児木のおもちゃ贈呈	人	28	30	16	57%
②	木育キャラバンin智頭町参加者	人	0	1	174	#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内在住の新生児16名へ木のおもちゃ贈呈。 ・ 木育キャラバンin智頭町を開催し、町内外から174名が参加。 				

R4年度（11月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・ 新生児への木のおもちゃ贈呈は令和4年度で6回目となり、町福祉課が健診等で広報しており町民の認知度は高く、木育への興味関心が広がりつつある。 ・ 木育キャラバンの開催については、運営を芸術と遊び創造協会（東京）へ委託しているため、委託料が高く付いてしまうことが 				

R4年度（11月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 幼少期から木にふれあい、木の良さを感じてもらえる環境であることが必要				

R4年度（11月末に記入）

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小さいお子さんの参加しやすい時期（冬以外）に他のイベントと併せて開催を検討する。 ・ 町内施設に点在する木のおもちゃを集め、単独で実施できる方法を検討する。 	

第7次総合計画進行管理検証シート(連番13を統合)

事業名	企業支援事業	所属	企画課	SDG s	8
事業(細目)名	商工振興費	事業番号		1165	
総合計画	基本理念	Ⅲ 子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	仕事	事業番号	12	連番 91

R4年度

Goal(目標)	企業ニーズに応じた柔軟な補助制度の検討及び創設。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内企業訪問による個別ヒアリングシートの作成。 ・ 外部人材のノウハウや知見を活用した企業計画の策定。 ・ 智頭町・鳥取県補助制度の周知。 ・ 新型コロナウイルスの影響を受けた町内中小企業の事業継続を図るための企業支援。

R4年度

Do(実行)	R4実績	41,362,000円				
活動実績を示す指標		単位	R3	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	(コロナ) コロナに負けるな中小企業支援交付金 ※実績確定数値	件	28	30	34	121%
②	新規創業及び店舗改修補助の実施	件	6	6	7	117%
③	副業・兼業外部人材活用支援事業を活用した外部人材とのマッチング件数	件/1社	3	5	6	200%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・ 副業兼業外部人材活用支援事業制度の策定及び実施。 ・ 商工会と協力し、コロナ被害を受けた中小企業者への補助制度創設。 ・ 新規創業、店舗改修事業の効果的な活用。 				

R4年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナで打撃を受けた町内中小企業に迅速な支援(第3弾コロナに負けるな中小企業支援金、エネルギー価格高騰対策支援交付金)を行った。 ・ 外部人材と町内事業者とをマッチングし、事業計画の策定を実施してもらうことで企業力の強化が図れた。 ・ 企業訪問により入手した情報を庁舎内や関連団体に共有し、有効に活用していく必要がある。 ・ 新規創業及び店舗改修補助金を有効に活用した。 				

R4年度

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由:				

R4年度

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度、桜土手のライトアップ用にトミサワ製のLEDライトを購入した。令和5年度も、企業訪問により得た情報を役場内で共有し、公共工事において町内企業の製品を導入するなど、課を超えた連携も行っていく。 ・ 令和5年度においても、町内中小企業の支援策について模索していく。 ・ 状況に応じた支援策を迅速に行っていくため関係機関(商工会等)との情報交換を積極的に行う。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	イベント活性化促進事業	所属	企画課	SDG s	9
事業（細目）名	地域支援推進事業	事業番号	2021		
総合計画	基本理念	Ⅲ 子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	仲間づくり	事業番号	3	連番 93

R4年度

Goal(目標)	町内のイベントに出店団体の参加を促す。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・「杉小判」や「まちのコイン」を活用し、町内イベントへの出店者の増加を目指すことで、町全体の盛り上げを図る ・制度について問題点等の検討

R4年度

Do(実行)	R3実績	0円
活動実績を示す指標		
①	対象イベント開催回数	回 0 1 0 -
②	杉小判交付団体数	団体 0 6 0 -
③		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント事務局を通じて出店参加を促進した。 	

R4年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「まちのコイン」との連携 					

R4年度

評価	C	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	評価理由：				

R4年度

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・まちのコインを活用した、イベント参加促進の再検討が必要。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	ゼロイチの更なる発展	所属	企画課	SDG s	11
事業（細目）名	日本1/0村おこし運動	事業番号	1482		
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	仲間づくり	事業番号	4	連番 94

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	地区振興協議会が行政と住民の中間組織となり、自立した地域運営組織となる事業を行う。 その他、事務局員に集落支援員を配置し、事業運営を促進する。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的な連絡協議会の開催。 ・ 円滑な事業運営を行うための集落支援員の配置。 ・ 各地区振興協議会事務局との連携強化。 ・ 指定管理者制度の導入

R4年度

Do(実行)	R4実績見込額	15,082,848円			
活動実績を示す指標	単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
① 連絡協議会の開催	回	2	3	3	150%
② 指定管理者制度導入数（地区振）	件	4	4	4	100%
③					#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連絡協議会を3回開催予定（6月、11月、3月） ・ 山形地区、いざなぎ、富沢地区、山郷地区振興協議会が指定管理者制度導入 				

R4年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍における運営への影響などで定期的に情報共有する必要がある。 ・ 集落支援員の配置により、各地区振興協議会における円滑な事業運営に貢献した。 					

R4年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 行政が支援する期間を終え、これから真価を発揮することを期待。				

R4年度

Action(改善)	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き各地区振興協議会と連携を取り、地域活性化の強化を図る。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	空き校舎利活用推進	所属	企画課	SDG s	11	
事業（細目）名	空き校舎利活用推進事業	事業番号	1966			
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり				
	視点	仲間づくり	事業番号	7	連番	95

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	廃校となった5つの空き校舎を地元住民が活用について検討し、地域に見合った利活用を検討し、実践する。また活用するにあたりインフラ整備については、行政が一部補助を行い、空き校舎の利活用を推進する。さらには先進地視察を行い情報収集し、今後の活動に活かす。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区内の空き校舎の利活用に向けた事業協議の実施。 ・利活用に向けた企業誘致等 ・空き校舎利活用幹事会の開催による情報提供、要望調査の実施 ・指定管理者制度に関する設置整備 ・地区の要望に添った校舎の改修 ・空き校舎利活用の先進地の活用事例等の研修

R4年度

Do(実行)		R4実績見込額	73,645,720円			
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	補助金の利用件数	件	1	3	3	300%
②	先進地視察	回	0	1	1	#DIV/0!
③	旧那岐小学校の改修	%	60	100	53	88%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・4地区（山形、いざなぎ、富沢、山郷）の振興協議会に指定管理制度を適用。 ・旧那岐小学校改修工事を継続して実施。 ・空き校舎利活用幹事会を開催1回。 					

R4年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・旧山形小学校、山郷小学校、土師小学校を改修し、利用者の利便性向上に繋がった。 ・旧那岐小学校改修について、引き続き適当な監理が必要。 					

R4年度

評価	B		方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価							
評価	B	評価理由： 地域の中核施設であり、継続した維持管理を支援していく必要がある。					

R4年度

Action(改善)	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・旧校舎の指定管理の適当な更新 ・先進地視察で得た情報を持ち帰り、それぞれの地区でできることを検証しアウトプット ・富沢コミュニティセンター、旧山形保育園の修繕工事

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	地域体育館（空き校舎）の生涯学習・交流の場としての活用	所属	教育課	SDG s		
事業（細目）名	公共施設管理事業	事業番号	2029			
総合計画	基本理念	Ⅲ 子どもから大人まで学びと成長のまちづくり				
	視点	③仲間	事業番号	9	連番	97

R4 年度

Goal(目標)	旧小学校等の教育施設を地域活動及び交流の場として活用し、生涯学習の推進を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・町公共施設(旧土師小学校・旧山形保育園・町内遊具等)の適正な管理を行う

R4 年度

(単位：円)

Do(実行)	R4 実績額	2,164,000円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	管理する施設数	施設	2	2	2	100%
②	安全点検を行う遊具設置施設	施設	7	7	7	100%
③						#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・旧土師小学校の井戸水、光熱設備、消防設備等の機能を保持するために適正に管理を行った。 ・町内7施設に設置された遊具の安全点検を行い、必要に応じて修繕または撤去を行う。 				

R4 年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理に必要な点検・改修を行った。 				

R4 年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：旧土師小学校の指定管理について検討すべきである。				

R4 年度

Action(改善)	R4 実施内容の改善及び見直しの上、R5 の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・旧小学校施設の多くは指定管理委託を実施しており、旧土師小学校も地区で維持管理できる体制が理想である。 ・今後、個別施設計画に基づいた維持管理とコスト削減、地区住民等による利活用の推進が求められる。 ・遊具の安全点検を行い、事故・ケガの発生防止に努めたい。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	百人委員会	所属	企画課	SDGs	11、17
事業（細目）名	百人委員会	事業番号	1895		
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	仲間づくり	事業番号	11	連番

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	町民がまちづくりに参加し、町をよりよくしようという意識を醸成する。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・百人委員会各部会の開催（随時） ・百人委員会総会の開催（3月） ・百人委員会学生の部（中学生）を計画的にフォロー ・百人委員会企画提案会の開催（12月）

R4年度

Do(実行)	R4実績見込額	7,967,104円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	今年度企画提案数	件	13	13	12	92%
②	百人委員会委員数	人	98	100	87	89%
③	企画実行数	件	9	12	10	111%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・百人委員会各部会の実施 ・次年度企画提案 一般の部7件、学生の部 高校生2件・中学生1件 ・運営委員会の開催2回 				

R4年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大のため、部会の開催・活動実施が困難な状態だったが、各部会が出来る範囲で活動した。 ・新規部員の加入はあったが総部員数は減少。住民へ百人委員会の周知拡大が必要。 				

R4年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	評価理由：企画提案がなかった部会もあり、持続性を高める対策が必要				

R4年度

Action(改善)	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・百人委員会の周知の方法を増やす（特設ホームページ開設・ホームページの随時更新等）。 ・引き続き参加意欲が創出される仕組みづくりが必要。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	総合計画周知及び実践事業(検証含む)	所属	企画課	SDG s	11
事業(細目)名	まちづくり事務費	事業番号	1011		
総合計画	基本理念	Ⅲ 子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	③ 仲間づくり	事業番号	12	連番

R4年度

Goal(目標)	第7次総合計画の内容を住民に周知し、役場の仕事を知ってもらう。また、実践したことを検証、評価し、公表することで住民の理解を得る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画事業の新規事業の追加等整理を行う。 ・各課の実績をまとめる。 ・ホームページで進行管理検証シートを公表する。

R4年度

Do(実行)	R3実績見込額	19,180円			
活動実績を示す指標	単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
① 進行管理検証シートの公表	回	1	1	1	100%
②					#DIV/0!
③					#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各課の進行管理検証シートをとりまとめ、公表した。 ・昨年と今年の評価を比較し、検証を行った。 				

R4年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適應しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・12月に当該年度の11月末時点での検証を依頼→4月に最終検証を依頼→6月に議会報告、公表という流れで実施したが、検証から次年度の要求への根拠となっているかどうか不明で、早くも形骸化が懸念される。一つ一つの事業毎の検証が必要かどうか検討が必要。 					

R4年度

評価	C	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	評価理由：検証シートの存在感を示すように総務課と連携すべき				

R4年度

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントを絞った検証を(経常経費的な事業は除くとか) ・ ・

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	国際交流の推進	所属	企画課	SDG s	17
事業（細目）名	国際交流事業	事業番号	1678		
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	仲間づくり	事業番号	17	連番 101

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	大韓民国江原道楊口郡と青少年交流、民間団体交流、職員交流などを行うことで、他国の文化や制度を知り、人材育成や地域間の交友を深める。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者協議 ・首長会議

R4年度（年度末に実績を記入）

Do(実行)	R4実績額	578,214円			
活動実績を示す指標	単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
① 首長会議	回	1	1	1	100%
②					#DIV/0!
③					#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・楊口郡郡守訪日（令和4年6月25日～27日） 				

R4年度（年度末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・楊口郡郡守訪日により対面での首長協議が実施できた。 					

R4年度（年度末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	評価理由： コロナの影響を受け交流が止まっているが、オンラインを上手に活用しながら関係性を維持していくことが必要				

R4年度（11月末に記入）

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・郡守が変わったため、新郡守との協議の場を設け、今後の交流事業について両地域の意識のすりあわせを行う。 ・楊口郡以外の交流先も模索しつつ、交流事業を実施する。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	SDG s 推進事業	所属	企画課	SDG s	17
事業（細目）名	まちづくり事務費	事業番号	1011		
総合計画	基本理念	Ⅲ 子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	③ 仲間づくり	事業番号	-	連番

R4年度（4月記入）

Goal(目標)	SDG s の取組を浸透させ、SDG s を意識して、つながることのできる地域をめざす。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・SDG s アドバイザリーボードの設置 ・SDG s 推進チームの結成 ・智頭NEXT事業での取り組み ・日南町との交流 ・内閣府広域連携SDG s モデル事業への提案

R4年度

Do(実行)	R4実績見込額	14,892,000円				
活動実績を示す指標		単位	R3(実績)	R4(計画)	R4(実績)	対前年比(%)
①	SDG s 推進チームでの活動、アドバイザリーボード	回	6	6	6	100%
②	日南町との交流	回	4	2	2	50%
③	広域連携SDG s モデル事業採択	件	0	1	1	#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザリーボードを1回開催、推進チームでの活動3回を実施（デジ田甲子園 分動画制作など） ・日南町との交流を2回実施 ・静岡県松崎町との広域連携SDG s モデル事業「日本で最も美しい村デジタル村民の夜明け事業」採択 				

R4年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザリーボード開催及びちづNEXT参観など、各事業との連携を深めることができた。 ・中学生ちづNEXTへの若手職員の積極的な参加を図ることができた。 ・日南町や静岡県松崎町との広域連携事業に弾みがついた。 				

R4年度

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：SDGsの理念を実現するためには、全庁的に取り組む必要がある				

R4年度

Action(改善)	R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・ちづNEXTでアドバイザリーヤングボード登壇予定 ・デジタル村民事業をととした地元企業へのアクションを想定 	